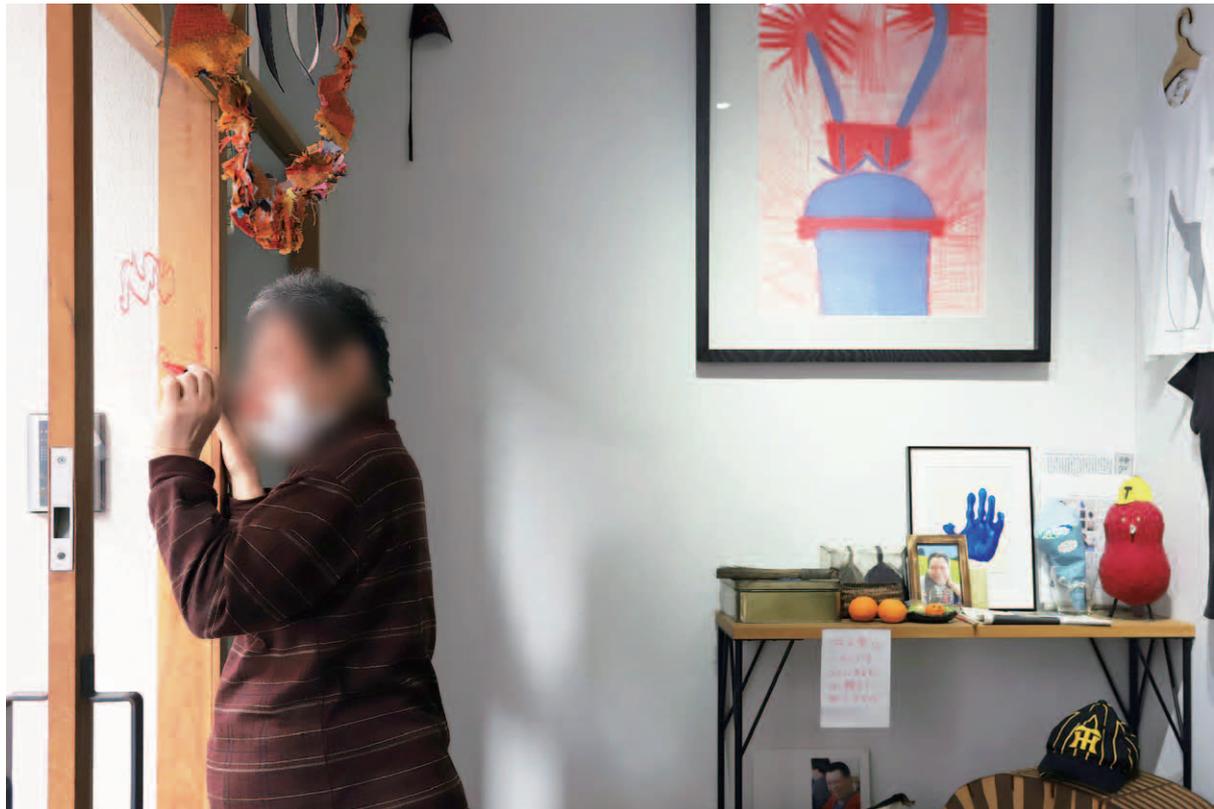


一羊会だより

発行
 社会福祉法人一羊会
 事務局 〒663-8241
 西宮市津門大塚町1-47
 電話 (0798) 31-1760
 FAX (0798) 31-1763



今号の表紙写真は、すずかけ第2作業所に所属し、あとりえすずかけのメンバーとしても活躍する小山充基さんです。小山さんの描く少し毒気のある可愛いキャラクターは「みつぷよ」と呼ばれ、多くの根強いファンの方々に愛されています。2021年12月、クリスマスの近づくある日、小山さんが得意とするガラス絵をあとりえすずかけの扉に描いてくれました。巨大もみの木にサンタと蛇、貨物列車にトナカイなどが描かれ、扉一面に小山ワールドが広がりました。

特集

- 2021年度 一羊会実践発表会の報告 3
- 一羊園のクリスマス会 5
- “猫の日” 特集ページ 6
- 地域共生ページ・Boleh ! 8



一日一日を大切に!!

理事長 三浦 昇

皆さん、お元気で新年を迎えられましたでしょうか。昨年末より新たなオミクロン変異株により年明け早々から全国的に感染が急拡大傾向にあります。

一羊会においても思うように活動ができない中で、現場では心抑えて利用者本人達と楽しく日々を過ごしております。

ところで1月17日、忘れもしない阪神淡路大震災（5時46分西宮は震度7の激震）から27年を迎え、私も当時の事が頭をよぎります。予想もしていなかった明け方のまだ暗闇の中で、体験したことの無い強い揺れで誰もが生命の危機を感じたことと思います。

身動きがとりにくい状況の中、建物の被害が少なかった「すずかけ作業所」近辺に在住の職員が主体的に作業所に集結、避難所としての指定を市に要請、作業所前の市営住宅の方々、利用者やその家族の人たちの緊急避難の場として機能するように対応、安否確認を育成会と協力して行いながら情報収集に奔走しました。又、交通網も遮断された中、全国から施設の職員や学生ボランティアが泊まり込みの応援に駆けつけてくれ、24時間体制で復旧活動に取り組んだものです。

その後名神下改修による2事業所（「すずかけ労働センター」「すずかけ第2作業所」）の撤去再建問題への対応、被害を受けた小規模作業所の復旧対応等、当時は兵庫県共同作業所連絡会の事務局でもあり、一羊会として精力的に動いたものでした。補助金運営の小規模作業所の被害状況は認可施設とは比較にならないほど悲惨な状態でした。色々な歪みは最終的に弱い立場のところにくるという事を肌で感じた事を思い出します。

そのような状況下で全国からの応援、義援金、物資などがたくさん寄せられとても感謝しパワーをもらったこと、民間パワーの素晴らしさと日頃のネットワーク、顔の見える関係づくりの大切さを実感したものです。

震災以前当たり前に日々を過ごしていましたが、この時を境に一日一日をしっかりと大切に生きていくという教訓を改めて得ました。

コロナの猛威が冷めやらぬ年明け、見通しが持ちにくい状況ですが、ネガでなくポジの精神を忘れず取り組んでいきたいものです。

本年もよろしく願いいたします。

本年もご協力をよろしく願いします

一羊会後援会会長 太田 博

遅ればせながら新年のご挨拶を申し上げます。年明け早々からオミクロン変異株の感染が急速に広がりだし、先の見通しに不安を感じる年明けとなってしまいました。

一羊会の事業もなかなか進捗できず現状の対応に追われています。

後援会においては、十日戎の街頭募金活動に代わる募金箱の設置を30カ所に設置することができ、又

本年度のカレンダー販売についても昨年度以上の販売ができました。ご協力いただいた会社事業所関係並びに各種団体、個人の皆様、心よりお礼申し上げます。

今年も「継続は力なり」を大切に一羊会事業への支援を続けてまいります。

今後共、皆様のご理解ご協力をよろしく願いいたします。

2021年度

オンライン実践発表会

昨年の12月27日に、2年ぶりの一羊会の実践発表会をオンラインで開催しました。

一羊会は第5次マスタープランの「地域連携の維持・活性化」の目標の方法に「実践発表会などで地域連携を深めていく」と挙げており、毎年各事業所の日々の実践の報告を行ってきました。しかし、昨年度は新型コロナウイルスの収束の目途が立たず、発表事業所は決まっていたが、開催は見送る事となりました。対面で集まる機会は減っていき、その代わりとしてオンラインのシステムが浸透し、法人の会議はオンラインで行う事が定番化し、昨年度見送る事になった実践発表会を今年度はどうしようかと思案したとき、やはり実践発表会を継続していく事が大切だと、オンラインで実施する事が決定しました。

一羊会の基本理念にもある「自己決定」をテーマに、すずかけ作業所は、利用者本人側から職員へ思いを伝えるツールとしてアプリを活用した支援を、武庫川すずかけ作業所は、2019年に発足した就労班の取り組みの中での利用者の成長の様子について、カノン今津は、利用者の受け入れから支援の流れで大切にしているポイントをそれぞれ発表しました。

今回の実践発表会は総勢61名の方々が視聴されました。オンラインという事もあり、西宮市内以外でも、神戸・明石・たつの市等、幅広い地域からの参加があり、アンケートでは、「日々の実践を丁寧にしている事を感じました。」「次の発表会もお願いします。」等、うれしいお声を頂きました。一羊会の発表を見たいと思って下さっている方々がいるからこそ、この実践発表会を続けられるのだと改めて感じました。

今回、初のオンラインという形となり、担当の私自身がIT関係に疎かった事もあり、当初不安がありましたが、周囲の助けがあって何とか無事終了する事が出来、チームで行う事の大切さと有難さを実感しました。

しかし、こちらの準備が至らず、当日ご不便をおかけした方々や視聴できなかったというご家族の方々もおられたかと思えます。この場をお借りして、お詫び申し上げます。

今後も地域に根差した法人である為に、私たちの活動を発表する実践発表会の機会を大切にしていきたいと思っています。その為に、これからも利用者の方々と共に日々の支援を丁寧に真摯に取り組んでいきます。



すずかけ労働センター 課長 堀江 史子



オンラインショップは2022年春にオープン予定。
詳細は一羊会ホームページやFacebookから発信
いたします。

すずかけクッキーのオンラインショップが今春オープンします

すずかけクッキーをWEB上でお買い求め頂けるオンラインショップが今春オープンします。こちらのページでは、ビスケットやミックスクッキーをはじめ、全5種類の商品を購入頂けます。素材にこだわり、ひとつひとつ手作りされたクッキーを是非ご賞味ください。

すずかけクッキーのはじまり～現在

一羊会に菓子班が誕生したのは1984年。すずかけ作業所に認可が下りた年のことです。それまでは下請けの作業しかなかったことから、『何か自主製品を作ろう』と、当時の杉本所長を先頭に始めました。

作業所が菓子製造を行うこと自体、まだまだ社会的に珍しかった時代です。今日に至るまでに携わってきた利用者の皆さんや職員の方々の計り知れない尽力があり、地域の方々に親しまれる味となった今のすずかけクッキーがあります。

現在は上甲子園すずかけ作業所の1Fに菓子製造の工房があり、6名の利用者と3名の職員が日々、製造業務に励んでいます。また、出来上がったクッキーの管理と配送業務は武庫川すずかけ作業所で行われています。製造からお客様の元へと届くまで、様々な工程に多くの利用者の方々が携わっています。



上甲子園すずかけ作業所 課長 谷口 雄大

私は菓子班で職歴をスタートさせ13年目を迎えました。繁忙期に必死になって製造した事は良い思い出で、今は間接的な立場で菓子班に携わらせて頂いています。昨年度、コロナウイルス感染拡大によって菓子班のバザー等の販売はほぼ全て中止になりました。販売はお客様にすずかけクッキーや利用者の魅力を直に伝えられる貴重な機会でもあり、実際に販売へ行く度に西宮市内で認知されている事を実感してきました。しかし、市内では認知されている商品ですが、まだ知らない方に対する認知度をどう上げていくのかは課題のひとつでした。先日、菓子班の立ち上げ当初に携わってきた先輩職員から「商品が売れる事で利用者の仕事に対するやりがいや誇りに繋がっている姿を見て販売をする事を大事にしてきた」という話を聞き、商品が1つ売れる事は大きな意味があるのだと改めて感じました。ネットショップ開設は課題の解決策のひとつであり、大事にしてきた物を守る事にも繋がると考えています。色々な人の思いが詰まったすずかけクッキーをこれからも伝え続けていきたいと思っております。

すずかけ作業所の販売イベント

2021年12月11日～12日の2日間、神戸ハーバーランドのスペースシアターにて開催された『ひょうご福祉事業所フェスティバル』の初日にすずかけ作業所が出店しました。このイベントはコロナ禍で販売の機会が減っている福祉事業所を応援するためのもので、県内の社会福祉法人やNPO法人が運営する65の就労継続支援A型、B型の事業所が集まり、ブースに店を並べました。

会場には様々な事業所の自主製品がズラリと並び、それを買求めるたくさんのお客さんで大賑わいでした。

すずかけ作業所のブースでは、お馴染みの布巾やせっけんといった商品の他に、作業所テラスで栽培されている多肉植物や、その鉢をディスプレイする木製の棚、刺繍を使ったブローチやバッグなど、真新しい自主製品の数々が並びました。このイベントに向けて、職員や、利用者の皆さんが時間をかけて用意してきた商品達です。

この日、一日販売に立っていたのは、利用者の尼崎さん。本当に久しぶりに外部で行われる出店イベントとあって、気合いが入っていた様です。穏やかな口調で、お客さんに対して丁寧に接客販売されていました。少しずつこのような販売の機会が増え、利用者の皆さんの活躍の場が増えていって欲しいですね。



一羊園のクリスマス会

2021年12月、一羊園のクリスマス会が2年ぶりに開催されました。場所は、フルーツフラワーパーク内にあるホテルの大広間です。例年であれば利用者のご家族の皆さんも参加されて盛大に開かれるこのイベントですが、今回は利用者の皆さんと職員のみでの参加。開催日を2日に分けて参加人数も分散させました。アクリル板にソーシャルディスタンス、様々な感染症対策が施される中で、歌やダンスといった出し物も行わないシンプルなプログラム構成でしたが、この日を心待ちにされていた利用者の皆さんは、お洒落を楽しみ、豪華なコース料理を堪能されました。

普段ソフト食を食べている利用者の方には、いつもよりも豪華なソフト食メニューが配膳されました。一羊園の栄養士さんが会場内でソフト食を準備され、他のコース料理が出されるのと同じタイミングで、前菜、メインディッシュとソフト食メニューが各テーブルへと運ばれていきます。そういった職員皆さんの細やかな気配りが様々な場面で光っていました。

最後には、サンタ帽を被った山下職員からそれぞれの利用者の方にクリスマスプレゼントが配られます。皆さん笑顔を浮かべながら大事そうにプレゼントを受け取っていました。きっと思い出深いクリスマス会になったのではないのでしょうか。



1年目職員の研修会

2021年11月、入職1年目の正職員を対象とした研修会が行われました。それぞれの配属先で働いている皆さん、コロナ禍ということで、実際に顔を合わせて会ったのは2回目です。近況の報告や、携わっている仕事についてそれぞれに情報交換をした後、ス波課長から利用者支援に対する心構えについての講義を受けました。

最近ハマっていることを紹介するコーナーでは、とにかく歩く、好きなユーチューバーの配信を観る、海外ドラマ鑑賞、ラーメン屋めぐりなど、コロナ禍での皆さんのライフスタイルが垣間見えました。

利用者の方々との関わりの中で思わずニヤリとし、ホッとした瞬間を発表するニヤリホットのコーナーでは、互いの持ち寄ったエピソードトークで盛り上がりました。それぞれ担っている業務や役割は違いますが、利用者の皆さんとのやり取りの中に、この仕事の楽しさややりがいを感じている様子が伝わってきました。

久しぶりの同期職員との再会を喜び合い、互いに新たな刺激を受けることができたようです。



2月22日は「ニャーニャーニャー」で“猫の日”

一羊会職員の飼っている可愛い猫たちを紹介させていただきます！

🐾 アルト（3才・女の子）

生後6か月の時に出会いました。樹木希林のような独特の雰囲気があり、動物病院の先生に「なんか空気が…」と言われるような猫です。穏やかな性格で、我が家に癒しを提供してくれています。

写真に写っている白箱は、職場で「その箱捨てるならください。(アルトが喜んで入るはず!!)」と猫バカを炸裂させ譲り受けたものです。「猫ちゃんにぜひ持って帰ってあげて〜！」と快く譲ってくれた安田課長に感謝です！

カノン今津 谷 沙知佳



🐾 きゅうり（6才・女の子）

“ペット可”今の家の契約書を見て飼わないと私。飼うなら絶対に猫がいいなと息子。それから数日後、『鳴き続けている猫を素通りできずに拾ったから誰か飼って〜』という連絡が息子に。そんな縁で【きゅうり】は生後2週間でやってきました。

袋・箱・カバンにはとりあえず入る。押し入れや高い所が好き。こたつの中で寝る。とにかく寝る。すりすりしてくる。言葉がわかる。猫との生活は、とにかくかわいい！思いもしなかったこの縁に今は感謝の日々です。

上甲子園すずかけ作業所 三木 さおり



法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同)

2021年11月1日～2021年12月31日

*法人

三浦昇 塩谷健介 岡本征 3件

*一羊園

一般財団法人高友福祉積善会 匿名2名 3件

*すずかけ作業所

一般財団法人高友福祉積善会 匿名1名 2件

*すずかけ労働センター

南野道明 1件

*武庫川すずかけ作業所

平野弘子 匿名1名(2件) 公益財団鳴尾会 4件

*上甲子園すずかけ作業所

上甲子園すずかけ作業所保護者会 1件

いつもご協力・ご支援ありがとうございます!!

2021年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

(2021年11月1日～2022年1月31日までのご入金分を掲載)

*法人・団体の部

(株)金森商店 (株)創功エンジニアリング 2件

*個人の部

秋山健一	飯森隆年	井上和巳(5口)	大西勝代	岡 克明	小椋朝夫	河合万貴子	河津睦子
久保廣高	塩谷健介	芝 桂子	四方 勝	島本美香	副島宏克	高谷知子	藤田信子
松枝千尋	南野道明	八木春作	山口有香				

 20件

2021年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)

(2021年11月1日～2022年1月31日のご入金分を掲載)

*法人・団体の部

(学)名古屋学院名古屋中学・高等学校 関西学院教会婦人会 関西学院宗教活動委員会
 神戸教育短期大学宗教部 サンコウ消毒 (宗)日本基督教団夙川東教会さくら会
 トータルマナー(株) 日本基督教団関西学院教会 日本キリスト教団西宮教会
 日本キリスト教団西宮教会婦人会 日本キリスト教団西宮教会日曜学校 西宮浜産業団地協議会

 12件

*個人の部

井上尚子	大目修平	岡田生樹(まり子)	小椋朝夫	河津睦子	木村清一	小久保京子	芝 桂子
関本弘子	善塔勝一郎	高木博敏	高谷知子	田中幸二	長谷川幸	八島満紀子	

 15件

口座名義 一羊会後援会 【銀行】三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061 【郵便振替口座】01190-8-66322

※受領証については、払込取扱票の振替払込請求書兼受領書をもって後援会の受領証とさせていただきます。

別途受領証が必要な場合はお知らせください。

◆ 訃 報 ◆

一羊園を利用されていた^{かわごえこういち}川越公一さんが2021年12月27日にご逝去されました。また、同じく一羊園を利用されていた^{くにさわ かよこ}國澤佳代子さんが2022年1月30日にご逝去されました。お二方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

Boleh!

Boleh(ボレ)はマレーシア語で「できる」を意味します。

このページでは地域共生をテーマとし、一羊会と地域の皆様方との繋がりをお伝えしていきます。

あとりえすずかけメンバーの絵が コーヒー屋さんのドリップバッグに

JRさくら夙川駅前にある『プロカントコーヒー』というお店をご存知でしょうか。地元の方々に愛されるお店になるようにとご夫婦2人で営まれている自家焙煎のコーヒー屋さんです。過去にあとりえすずかけの写生会で、こちらのお店を利用させて頂いたことがあり、あとりえすずかけにとっても馴染みのあるお店です。そんなプロカントコーヒーさんが、クリスマス限定ドリップバッグのデザイン画を地域の方から募集していると知り、この度、森本さんと伊東さん、2人のデザイン画を応募させて頂きました。

結果は2人とも見事に採用。他に採用されたデザイン画の商品と共に店頭並び、多くの方々にお買い求め頂いたそうです。普段のあとりえすずかけの商品とはまた違った形で、メンバーの絵が多くの人の元へ広がっていく素晴らしい機会となりました。またひとつ地域の方々との繋がりを持つきっかけとなった様に感じています。

森本さんと伊東さんには、プロカントコーヒーさんからお礼としてそれぞれのドリップバッグが入ったギフトセットが贈られました。



▲左が森本さん、
右が伊東さんの描いたデザイン



▲ギフトセットを手に笑顔の森本さん

マリナふれあいマラソン

2021年12月4日、西宮浜のヨットハーバーで開催された「マリナふれあいマラソン」にすずかけ第2作業所の利用者さん2名と職員1名が参加しました。

元々、西宮浜小学校の学校行事として行われていたこの「マリナふれあいマラソン」。西宮浜小学校が中学校との統合により9年制の「西宮浜義務教育学校」と名前を変えたことをきっかけに、より地域の方々にかかれたマラソン大会として、この度開催されました。会場となった西宮浜ヨットハーバーでは早朝から多くの参加者で賑わい、小さいお子さんから大人の方までが一緒になりゴールを目指して走る姿がありました。



写真で紹介しているのは、1.5キロコースに出場した利用者の西井さんと職員の阿部さんです。阿部さんに励まされながら、ご自身のペースでしっかりと完走された西井さん。カメラを向けたゴール前の直線では大きく腕を振って力強い走りを見せてくれました。

これから西宮浜の冬の風物詩として、長く続いていくマラソンイベントになっていって欲しいですね。

